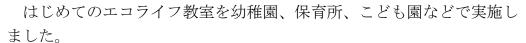
令和6年度 はじめてのエコライフ教室」実施報告



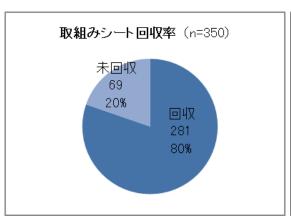
地球温暖化防止活動推進員が訪問し、幼児や保護者の皆さんと一緒に、しかけ絵本を見たり、エコ工作やごみ分別ゲームなどを楽しみながら、エコライフを学びました。

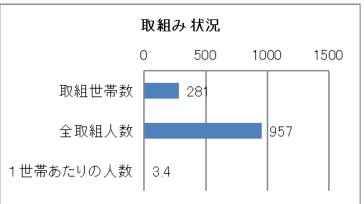
その後、幼児の皆さんが自ら3つの取組みを選び、家庭で家族と一緒に1週間、エコライフに取り組みました。参加した皆さんは、とりくみシートに貼っていくシールを楽しみに頑張り、多くの家庭でエコライフを習慣にしていただきました。

●参加者、取り組んだ人数

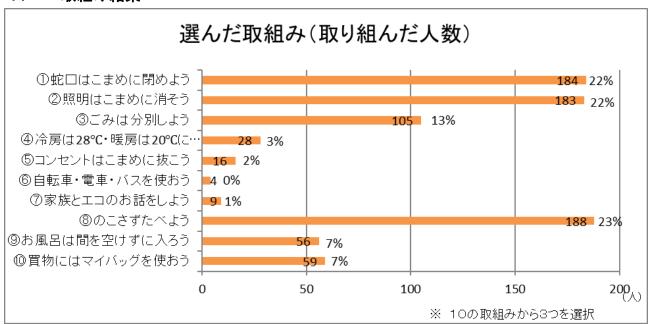
実施園数	参加幼児数	参加保護者数	取組世帯数	全取組人数 (幼児及びその家族)
1 3	350人	8 1人	281	957人

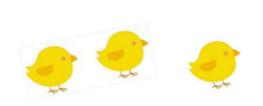
	令和6年度 はじめてのエコライフ教室 実施園一覧								
	市町名	幼稚園・保育所名	実施日	対象幼児 (歳)	参加 幼児数	参加 保護者数	全取組 人数		
1	黒部市	荻生保育所	7月12日(金)	5 • 4	38	0	89		
2	富山市	ひらきこども園	7月18日(木)	5 • 4	22	0	53		
3	富山市	晴雲幼稚園	7月18日(木)	5	34	0	120		
4	射水市	新湊つくりみちこども園	7月24日(水)	5	38	0	38		
5	滑川市	あずま保育所	8月22日(木)	5 • 4	19	0	34		
6	富山市	水橋西部保育所	8月27日(火)	5 • 4 • 3	27	0	78		
7	富山市	四方こども園	8月29日(木)	5	18	0	45		
8	富山市	新庄幼稚園	9月9日(月)	5	48	7	173		
9	富山市	水橋東部保育所	9月13日(金)	5 • 4 • 3	16	0	47		
10	富山市	五番町幼稚園	9月20日(金)	5	15	15	43		
11	砺波市	しょうがわ認定こども園	10月10日(木)	5	19	17	49		
12	高岡市	みつば保育園	11月29日(金)	5	45	42	145		
13	朝日町	いちご保育園	12月5日 (木)	5 • 4	11	0	43		
				計	350	81	957		



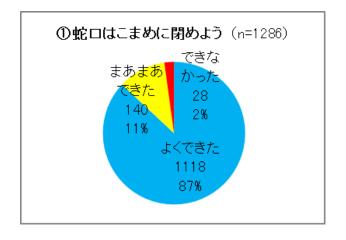


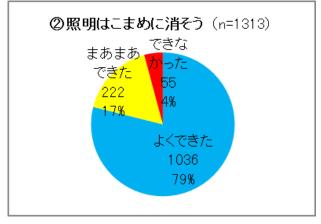
1. 取組み結果

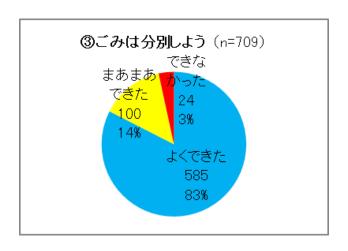


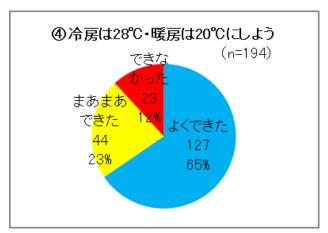


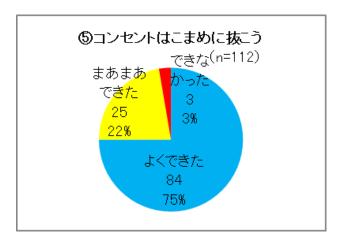


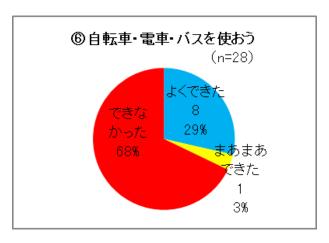


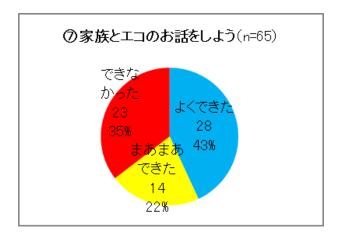


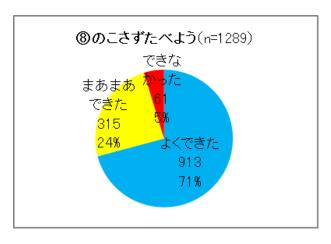


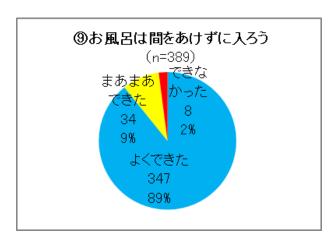


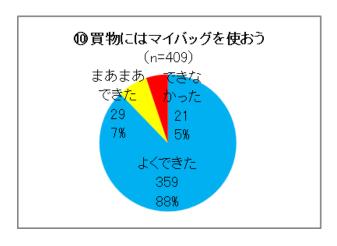






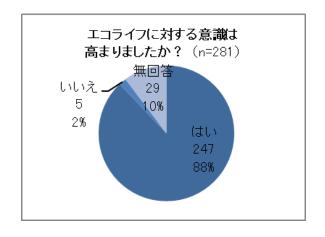


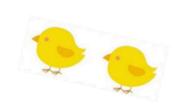




2. 保護者アンケート

①「はじめてのエコライフ教室」によって、ご家族のエコライフに対する意識は高まりましたか?



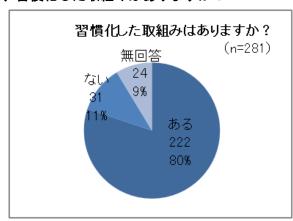


<「はい」の理由>(抜粋)

- ・親が伝えてもピンとこないことがエコライフを通じて普段の生活から目に見えて意識するようになった。
- 子どもたちがじゃぐちを早めに閉めるところを見かけるようになった。
- ・紙に記入することにより日々意識して生活することができたから。
- 普段からエコバッグを使用していたが、子どもにあまり意識させていなかったため、良い機会だった。
- ・子ども自身がお菓子の袋等何かを捨てる際マークを見て分別するようになった。
- ・子どもが環境について理解でき、地球を守るために頑張るようになった。
- ・子どもがエコライフ教室で教わったことを家でも話してくれて家族みんなでエコライフに取り組もうという意識が芽生えた。
- ・小さな取組みが1年を通して大きなエコになるとわかった。
- ・今までは親だけ意識してやっていたが、子どもと一緒に取り組むようになった。
- ・「地球さん喜んでいるかな?泣いているかな?」と声をかけ合うことができました。
- ・電気や水などを無駄使いしないようにする意識が高まり、生活する中で「電気消すね」「水止めるよ」 という声が聞かれるようになった。
- ・普段から気をつけているようで、出来ていなかったことを発見することができました。
- ・子どもが"地球のために"と取組みを意識することで兄弟や親もその意識が高まった。
- <「いいえ」の理由>
- ・父親が面倒くさがってなかなか難しい。

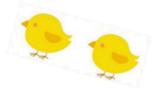
②1週間実践した取組みの中で、習慣化した取組みはありますか?





<取組みの内容>(抜粋)

- ・「お風呂は冷めないように間をあけず入ろう」は意識して行うようになった。
- ・食事の時には食べ残しがないよう家族同士で声をかけ合うようになった。
- ・お風呂に入る時続けて入ったり歯みがき、手洗い等の時にこまめにじゃぐちをしめる等節水に気をつけるようになった。
- ・ipad でゲームをするとき、充電が終わってもさしっぱなしでいたが、充電完了したら抜く。
- ・家族で声をかけ合いむだな電気を消す。
- ・買い物にはマイバッグを使おう。
- ・残さず食べるように本人に量を聞いて取り分けし、本人も残さず食べようとがんばっていた。
- ・今まで食事を少し残したりしていた娘が残さず食べようと頑張っていました。
- ・お菓子を食べたらプラのマークがある袋はプラのごみ箱に捨てるようになった。
- ・エアコンの温度設定を全員が気にするようなった。



③意見・感想(抜粋)

- ・取り組む中で "eco" という言葉が何度かあり、今まで知らなかったことを知る機会になった。
- ・子どもに"もったいない"と言ってもなかなか伝わらなかったけど、この教室のおかげで"もったいない"のはなぜなのか、地球がどうなってしまうのか、知ってもらえてよかったです。
- ・残さず食べることもエコライフにつながると初めて知ったようで良かった。
- ・親子参加型とても良い。
- 全てのことをこれからも続けていくべきだと思う。載せる
- 家族みんなで楽しく取り組めるいい機会になりました。
- ・環境を大切にすることや少し気を付けることでエコな生活になることを小さい頃から意識付けしてもらえてとても良かったです。
- ・小さい時からエコについて学べるのはいい事だと思います。分別方法も教えてもらい、①1子どもも分別に対する学びができたと思います。
- ・ごみのポイ捨てなど人間の身勝手な行動で地球が悲しんでいるんだよ。と子どもが理解して自分にできる事は何だろうと考え、そして行動に移すようになった。これからも一緒に分別したり節電したりエコライフを楽しめたらいいなと思います。
- ・今まで大人だけがせっせと節電、ごみの分別をしていましたが、子どもが今回のエコ教室を通して自 分からエコライフに参加するようになりとても良い教室だと思いました。
- ・シールを貼ることで子どものやる気が UP したと思います。
- ・子どもが地球にいいことを考えるようになってきて、いいきっかけになりました。ありがとうございました。
- ・できることから少しずつ、その意味を子どもたちに伝えていく事に意味があるんだなと感じました。

3. 実施園及び地球温暖化防止活動推進員から

① 園の先生の感想(抜粋)

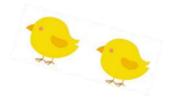
- ・子どもたちが興味を持つような教材をたくさん用意していただきありがとうございました。子どもも 保育士も保護者もエコについて学ぶ良い機会となりました。
- ・3~5歳の部屋に燃えるごみとプラごみ2種類のごみ箱があり、意識して捨てる子は少数いるが、今回さらに細かく分類する機会となりとても良い経験ができたと思う。また、身近にあるものや廃材で作った工作は「楽しかった」「保育園でも作ってみたい!」という声が聞こえてきた。工作が好きな子どもが多いため良いアイデアをもらえたと思う。保護者の方もとりくみシートの影響からか、「エコだよ」

「もったいないよ!」などと子どもから話してくる姿が増えてきたと話していた。子どもたちが楽しみながら知る学ぶきっかけとなりとても良い機会となった。

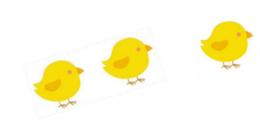
- ・教室後、エアカーリングを好んで作りゲームをする等みんなで楽しく遊びました。
- ・SDGs などエコについての話が 4,5 歳児にとっては難しく集中できなかったように思えます。「物を大切にしよう」「廃材あそびの紹介」など簡単な内容でも楽しみながら学べたのでは?
- ・取り組みたいものの項目が子どもにもわかりやすい内容だったので、継続して取り組みやすい。
- ・玩具遊びでは、手動で動かす物ははじめての体験だったので興味津々でした。手作り玩具はとても参考になり今後作って遊びたいと思いました。
- ・ごみの分別について、園生活の中では詳しく話はしていなかったので、分別の体験では初めてなのに 真剣にマークを探しながら分別する様子が印象的で、園でのおやつの時などできる事をやってみようと するきっかけになりました。
- ・今回初めて親子参加させていただきました。分別ゲームやエコ工作を一緒に取り組むことができ子どもたちはとても嬉しそうでした。また、事後の「とりくみシート」を各家庭でするということを考えると親子でエコライフ教室での話を聞く事ができたのは良かったです。
- ・園でも廃材の空箱やおやつの包み袋からプラ、紙などエコマークを見つけては知らせてくれるようになりました。
- ・講師の方が白衣を着ておられたので、園児は「エコ博士だぁ!」と、より親しみが湧いた様子だった。

② 地球温暖化防止活動推進員の感想(抜粋)

- ・テレビ等で SDG s や異常気象について伝える機会が増え、地球温暖化防止について興味を持ちできることから防止活動をしてほしい。
- ・先生方が前もって準備をしていただいたおかげで無事に遂行できることができました。園児たちはとても積極的に参加しているように感じました。ちいさな園児たちもしっかりとお話を聞いていたのが印象的です。
- ・子どもたちが皆熱心に参加していた。おもちゃ遊びが楽しそうだった。おもちゃがたくさん用意されていたので、スムーズに体験できていたようだ。
- ・絵本の読み聞かせの途中、子どもたちは問いかけにも素直に答え、分別ゲームもよく聞き、取り組んでいた。また、「エコ工作・発電遊具」では、どのコーナーにも楽しんで参加し遊んでいた。
- ・今回は簡単な腹話術で興味を引くよう導入を工夫した。「デコ活」「3R」など5歳の子どもにもわかるようかみ砕いて話すよう心がけた。どこまで伝わっているかはわからないが、これがチャレンジ10~とつながり、家庭を巻き込んでデコ活への興味を深めていってくれることにつながればよいと思った。
- ・しかけ絵本で「どっちがもったいないか」は大体の子がわかっているので、家庭でもちゃんとエコ意識をもって皆で暮らしているのが想像できて嬉しいし、この機会に増々エコに興味をもってくれたらいいなと思います。見学者の方にも参加してもらえて助かりました。終了時間も守れて良かったです
- ・幼児40名ということで、収拾がつくか心配していたが、先生方やスタッフのサポートのおかげで6つの小グループに分かれても最後まで子どもたちは集中力が切れることなく活動できたのではないかと思っている。
- ・子どもたちはガチャピンの大型絵本を見ながら集中して参加し、指さしながら一生懸命答えていた。
- ・園児だけでなく大人がいることで内容が深まり、エコキットでの遊びも楽しそう!
- ・先生方も積極的に協力してくれありがたかった。
- ・博士の白衣はインパクトがあり有効でした。



- ・小さな子供たちもエコ活動や環境へ思いをめぐらすことができることがわかった。このような活動を 地道に続けていくことで未来を生きる子どもたちの生きる世界が良くなっていけばと思う。
- ・先輩推進員の巧みな話術や進め方に感心しながら見学させていただきました。子どもたちも楽しそうに参加していてほのぼのとした気持ちになりました。
- ・伝えたいことの言葉選びの難しさを感じた。「もったいない」ひとつにしても「なぜ片方がもったいなくて、もう片方はそうではないのか」などそのことの意味(なぜ)を伝えるのではなく、「水を出しっぱなしはだめ、電気のつけっぱなしはだめ」などの「ダメな行動」を伝えなければいけないのかもしれないと学んだ。ただし「だめ」という伝え方は駄目なようにも感じ、伝え方は難しい。
- ・繰り返しこのような機会を体験、経験してもらうことで、定着するのだろうと感じ、活動の大切さを再認識できた。
- ・説明に絵本を使ったことは、園児に興味を持ってもらうのにとても効果的だった。





各園での様子



7.12 荻生保育所



7.18 ひらきこども園



7.18 晴雲幼稚園



7.24 新湊つくりみちこども園



8.22 あずま保育所



8.27 水橋西部保育所



8.29 四方こども園



新庄幼稚園



9.13 水橋東部保育所



五番町幼稚園 9.20



10.10 しょうがわ認定こども園



11.29 みつば保育園



いちご保育園 12.5





(参考) とりくみシート URL http://www.tkz.or.jp/hajieco/houkoku.html

みなさんの幼稚園、保育所、こども園でも 「はじめてのエコライフ教室」を実施しませんか?